

事務事業シート 対象事業年度 平成 24 年度

コード

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

■ 計画 ■ 事業化 事業 ■ 管理

個24事02

政策名	5 安全な港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取り組みの方向性)			責任者	企画調整室 事業担当課長
基本施策名	08 施設の安全性・信頼性の向上		事務事業	成果	コスト		
個別施策名	24 海岸保全施設の機能を維持・強化する		継続	維持	維持	連絡先	052-654-7921
事務事業名	02 堀川口防潮水門ポンプ所(改良)整備事業					連携課	工事課、港湾工事事務所、施設事務所
目的	海岸保全基本計画に基づき、高潮対策として堀川口防潮水門ポンプ所を整備し、海岸保全施設の機能を維持します。					事業期間	平成14~24年度 (平成14~23年度:ポンプ所改良) (平成24年度:既存ポンプ所解体撤去)
概要	整備場所:名古屋港区東築地町 内容・規模:堀川口防潮水門ポンプ所改良(水門1式、ポンプ所改良1式) 総事業費:74億円 事業手法:社会資本整備総合交付金事業					根拠法令等	社会資本整備重点計画法 海岸保全基本計画
事業着手時点の評価	堀川口防潮水門ポンプ所は、伊勢湾台風の被害を契機に整備されたが、ポンプ所の信頼性向上及び作業の軽減化による稼働準備時間の短縮を図るため、水門とポンプ所の改良を行うとともに、近い将来起こり得ると予想されている東海・東南海地震に対する耐震強化を行い、防災機能の維持を図ります。費用対効果(B/C)は63.52です。					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	旧ポンプ施設の撤去を行い、事業完了予定です。					関連シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	旧ポンプ施設の撤去を行い、事業完了しました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
総事業費 計	千円	1,089,400	896,400	1,201,600	440,900	57,400	(款項目節) 歳出:建設費/整備費/改修費/工事請負費
国費	千円	435,800	358,500	480,600	176,400	23,000	(算出計算式) 本組合の負担割合は、総事業費の5分の3(排水機場)
一般会計	千円	653,600	537,900	721,000	264,500	34,400	
事業会計	千円						
人員費相当額 計	千円	0	0	2,290	2,069	4,532	(その他) 人件費は21年度まで各管事業費に含まれ、22年度以降は、事業費の対象外となっています。 事業費については最終確定額ではありません。
正規職員	人	0.00	0.00	0.27	0.24	0.52	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計(国費除く)	千円	653,600	537,900	723,290	266,569	38,932	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年・年度	20	21	22	23	24	最終目標	24	備考(指標の算定方法)
事業進捗率(%)	目標	14.4	12.0	15.7	5.9	1.2	(累計)100		事業進捗率(目標・実績)は、総事業費を100とした事業費(当初予算額)の割合です。 各年度の達成率は、決算額(実績)÷当初予算額(目標)×100で算出しています。
	実績	14.7	12.1	16.2	5.9	0.8			
	達成率(単年度%)	102.1	100.8	103.2	100.0	66.7			
	達成率(累計%)	43.7	55.8	72.0	77.9	78.7			
達成率、事業進捗率の補足説明	総事業費を約58億円に縮減できたため、累計達成率78.7%をもって事業完了しました。								

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	完了			24年度にて事業完了のため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				
平成24年度完了				